

令和5年度第2回山形県保健医療推進協議会の議事概要

1 日 時 令和6年1月17日（水）13:30～15:00

2 場 所 WEB会議（県庁1502会議室）

3 協 議

(1) 各種計画の策定について

- ・山形県保健医療計画及び山形県医療費適正化計画 《資料1-1～3》
- ・山形県アルコール健康障害対策推進計画 《資料2-1～3》
- ・山形県外来医療計画 《資料3-1～2》

(2) 地域医療構想の進捗状況について 《資料4-1～3》

(3) 地域医療介護総合確保基金について 《資料5-1～4》

○ いただいた主な御意見等

<山形県保健医療計画及び山形県医療費適正化計画>

協議会として、計画案を了承

- ・ 糖尿病の新規透析導入患者数の目標について、より高い目標を設定できないか。
→（事務局）
人口が減少する一方で高齢化は進み、75歳以上人口が今後も増加していく中で、透析の患者数は減りが鈍るのではないかと見込まれ、設定したもの。
- （他の委員）
県の状況から、人数的には妥当ではないか。
- ・ 能登半島地震をみると、本県で災害があった場合、他県からの支援などの受援体制の構築が重要ではないか。
→（事務局）
大変重要な視点であり、記載内容に追加する方向で検討してまいりたい。
- ・ 「在宅医療において積極的役割を担う医療機関」について、二次保健医療圏ごとに差があるようだがどうか。
→（事務局）
国のガイドラインに沿って今回新しく設けられた項目であり、具体的な医療機関については、それぞれの地区で協議をいただき、その結果を掲載している。初めての試みということもあり、各地域間の考え方に多少差があったということも否めないが、これが第1回目ということで、今後の他の地域の取組なども見ながら横展開できればと考えている。

<アルコール健康障害対策推進計画>

協議会として、計画案を了承

- ・ アルコール関連の学習会や協議会など、人材を育てていく動きが既に活発であり、非常に心強い。

<山形県外来医療計画>

協議会として、計画案を了承

- ・ 医業承継についての県の考えとしてはどうか。

→ (事務局)

産業医、学校医、在宅医療など、地域医療を担う開業医の数が減ってくると地域医療に大きな影響が出てくると考えている。こうした状況を踏まえ、県としては来年度予算案の中に診療所の医師確保の対策について盛り込んでいるところ。県医師会や医療機関の方々などと協力して取り組んでいきたいと考えている。計画への記載という点では、「医師確保計画」策定にあたり、地域医療対策協議会の場で議論いただいている。その医師確保計画の記載の一部抜粋を山形県保健医療計画の中にも記載することになっている。

<地域医療構想の進捗状況について>

- ・ 西村地域医療体制の中間報告を見ると、具体化しつつあるようだ。まだまだクリアすべき問題もあろうかと思うが、今後ますます推進していただきたい。

<地域医療介護総合確保基金について>

- ・ 女性医師等の離職防止や再就業の促進について、最近では女性医師の研修医が増えてきている感覚がある。女性医師支援ステーションについて、学生さんと先生方にアピールや声かけを更にしていただきたい。
- ・ 基金の活用が、県によってばらつきがあるので、最大限に利用してもらいたい。